

2018年6・7月展示・館員おすすめの本

「横浜を読む・知る・歩く」



私たちの大学のある横浜は、お洒落で垢抜けた素敵な街。港町として栄えた歴史とともに現代的な街並みが調和した有数の観光都市です。美しい港の風景や異国情緒を感じる中華街や洋館など、みどころがいっぱい。授業が早く終わった日、たまにはさわやかな潮風を受けて歩いてみてください。歩き疲れたら美味しいものも沢山あるのでひと休みするといいですね。 (原真由美)

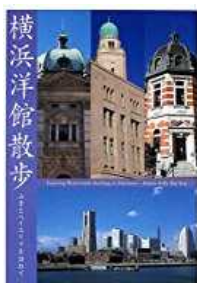


大崎梢『横浜エトランゼ』講談社 2017

高校3年の千紗は、横浜のタウン誌の編集部でアルバイト中。そこで出会った人を通して、かつての横浜の記憶をよみがえらせたいと思います。関内にまだ球場がなかった頃、根岸に競馬場があった頃、元町に大階段があった頃……読者は千紗とともに、横浜の今と昔をたどります。

田村明『都市ヨコハマ物語』時事通信社 1989

横浜は開港という華やかな歴史の舞台に登場し、文明開化の先駆けとなりました。関東大震災、横浜大空襲と何度も悲運にも見舞われましたが、その度に知恵を発揮し、再び新しい時代を作り出してきたのです。現在の姿の裏にある歴史を知ること必要ですね。



阿部編集事務所『横浜洋館散歩』淡交社 2005

かつて関内、山手を中心に洋館が軒を連ね、活気ある街並が作られました。けれど近年、再開発などで由緒ある建物が取り壊されています。この本には現存する洋館建築が多数紹介されています。歴史を偲ばせる美しいたたずまいを自分の足で巡ってみてください。



〈横浜が舞台の小説〉

高橋千鶴『ココリコ坂から』徳間書店 2011

山崎洋子『横浜開港絵巻 赤い崖の女』講談社 2007

東野圭吾『夜明けの街で』角川書店 2007



〈歴史を知ろう〉

上坂高夫『空が落ちてくる』有隣堂 1983

斉藤多喜夫『横浜もののはじめ物語』有隣堂 2017

横浜開港記念館『ジャックの塔 100年物語』神奈川新聞社 2017

〈歩いて、見て、食べる〉

『ハマの建築探検』横浜シティガイド協会編集・発行 2002

林兼正『聞き書き 横濱中華街物語』集英社 2009

『横浜・神奈川のしあわせカフェ』KADOKAWA 2017



